

×受付No.
奨学生No.

信濃町奨学生願書						
(ふりがな)			※ 男・女			
奨学生申込者氏名			年 月 日生(満 歳)			
申込者本籍地						
申込者現住所	(方)電話					
家族現住所	信濃町	(方)電話				
希望する期間	年 月 から 年 月まで 年 箇月間					
在学学校	※	高等学校	科	※		
	国立	高等専門学校	科	全日制		
	公立	専門専修学校	科	定時制	第 学年	
	私立	大学 学部	科	通信制		
	所在地					
申込者履歴	年 月	高等学校卒業	年 月			
奨学資金希望理由 (経済状況など)						
月平均所要経費	収入の内訳		支出の内訳			
	家庭から	円	食費	円	授業料	円
	内職・定職から	円	住居費	円	学校納付金	円
	その他()から	円	交通費	円	その他	円
	計	円	学用品費	円	計	円

家 族 の 状 況	続柄	氏名	年齢	職業	勤務先	年収	就学者の場合 の在学学校 及び学年	奨学資金貸 与等履歴の 有無
			歳			円		※ 有・無
			歳			円		有・無
			歳			円		有・無
			歳			円		有・無
			歳			円		有・無
			歳			円		有・無
	合計			人			合計 円	
所 得 等	給与所得		※商業・工業・林業・漁業所得			農業所得		その他の所得
	年収 円		年収 円			年収 円		年収 円
	賞与、諸手当 その他を含む		年売上高 円	営業支出 円	営業利益 円	(自家用消費分を含む) 耕作面積 田 m ² 畑 m ² 山林等面積 m ²		※ 原稿料, 各種 報酬, 恩給, 遺 族年金, 扶助料, 利子収入, 間 代, 家賃, その 他()
特 別 控 除	母子世帯	※	×	身障者世帯		※	×	千円
	父子世帯							千円
	小学生			長期療養者のいる世帯				千円
	中学生			家計支持者が別居している世帯				千円
	高校生			災害罹災世帯				千円
大学生等			計				千円	

信濃町長 様

年 月 日

以上のとおり記載に相違ありません。

奨学生として採用の上、奨学資金を貸付けされるようお願いいたします。

なお、採用の上は信濃町奨学資金貸付基金の設置、管理及び処分に関する条例、信濃町奨学資金の貸付けに関する規則及びその他法令の規定に従い、奨学生としての責務を果たすことはもとより、奨学資金の返還及び奨学資金に伴うその他の義務についても、誠実に履行することを誓約いたします。

連帯保証人は奨学生の債務を連帯して負担し、保証人は奨学生の債務を負担することを誓約いたします。

奨学生申込者	氏名 現住所	印
連帯保証人	氏名 現住所	印
保証人	氏名 現住所 続柄 奨学生の()	印
法定代理人 (奨学生が成年者又は既婚者のときは記入不要)	氏名 現住所	印

(注意事項)

- 1 ※印のところは、該当のものに○、×印のところは記入しないこと。
- 2 奨学生申込者の履歴は、休学、転学、退学等の異動も理由を付けて漏れなく記入すること。
- 3 奨学資金希望理由は具体的に、詳しく記入すること。
- 4 支出の内訳のうち、自宅通学者は食費、住居費は記入しないこと。
- 5 家族の状況のうち、続柄の前に家計支持者には○、別居者には×を付けること。
- 6 所得は家族全員の収入を記入し、父母又は家計支持者の前年所得を証明する書類を添付すること。
- 7 保証人は、奨学生が未成年者かつ未婚者であるときは法定代理人とし、また信濃町に居住し、独立の生計を営む成年者で将来奨学資金返還の責任を負い得る者であること。
- 8 署名は自署とすること。
- 9 所定欄に記入のないものは、判定材料を欠くものとして不採用とすることがあります。